

2017平和運動



気仙地区平和集会。行進

世界の恒久平和を創造し、子ども達に核兵器のない未来を!

連合

esen

No. 117

【2017. 8. 1】

連合岩手気仙地域協議会
大船渡市猪川町前田 9-17
TEL 0192-27-8671
FAX 0192-47-3471
http://www.rengo-iwate.jp/

発行責任者：梅木 博
編集責任者：星 正和

七月二五日、カメリアホールを会場に「二〇一七平和運動 気仙地区平和集会」を開催し、六五名が参加した。集会後は、世界の恒久平和、核兵器廃絶などのプラカードを掲げ、盛岡内を行進して平和の尊さを市民に訴えた。

二五日は、気仙地域一円を街宣し、世界の恒久平和の実現と被爆者支援の強化をはじめ、在日米軍基地の整理・縮小、日米地位協定の抜本改定など、スピーチカーを通して地域の皆さんに呼びかけた。平和集会前には、DVDを上映「長崎の記憶」を行い、集会では、主催団体の代表者を紹介した後、梅木実行委員長が核兵器や戦争による社会の現状に触れて「一人ひとりが平和を願って、核兵器のない社会を訴え続けよう」と挨拶、大槻県実行委員からは、平和行動の意義、県内三コースで行われる平和行進の報告があった。

また、昨年の長崎行動に同行した星事務局長は、記録写真の一部をプロジェクターで紹介して連合岩手の平和行動の行程を報告した。

最後に、金野副実行委員長から「国連による核兵器禁止条約の制定に向けた本決議に日本は反対票を投じた。日米同盟を意識して核兵器保有国と非保有国の橋渡し役としての責任の放棄は許されない。日本政府に条約の批准・発効に向けた外交努力を強く要請する。」安倍政権の組織犯罪処罰法の強行採決という暴挙に強く抗議し、平和と安全を守るため動向を注視する。職場や地域における核兵器廃絶運動に粘り強く取り組む」とした平和アピールを提案、確認した。

集会後、ボードなどを掲げ、盛岡内をデモ行進して、市民へ平和の尊さを訴えた。

-働くことを軸とする安心社会-

国会&岩手県議会

報告会

日時: 8月23日(水)
18時~17時30分
場所:大船渡総合福祉センター

【報告弁士】

- ◆ 岩手県議会報告 田村 誠
岩手県議会議長
- ◆ 現在の政治動向 黄川田 徹
民進党岩手県総支部連合会代表

政治動向を把握しよう!

震災復興・地域課題を考える

政治・政策フォーラム

政治の動向は生活に影響する

雇用・労働、税制、社会保障、環境、平和、安全保障などの問題は、国や地域社会のあり様によって私たちは大きな影響を受けることから、現在の政治動向を把握するとともに、働く環境に影響する政治の重要性を理解する機会とするため、八五名の組合員の参加の基、七月一八日に大船渡労働福祉センターにおいて「政治・政策フォーラム」を開催した。

冒頭、梅木議長は、「政治は難しいと敬遠しがちだが、働く者として声を上げる際にはその力も必要になる。この機会に理解を深めあおう」と挨拶をした。

その後、東市議からは、市議会定例会や委員会などの流れや少子高齢化・教育・長時間労働などを課題とする活動報告。菅野町議からは、木工団地の経営再建に向けて動き、町の人口減少や所得



向上・地域づくりなどの報告。議長に就任した熊谷市議からは、市の復興計画の進捗や市政課題に触れ、復興計画は最終の四年間に入り、完成した箱の中身が重要で住みだしたい街づくりを進める正念場に来ていいるなどの報告があった。

引き続き、畑氏は自己紹介の後、衆院議員在任中に触れ「復興事業の用地取得の特例に関する復興特区法改正案を立案・成立できたことは大きな誇り」と語り、「沿岸は建設業や水産加工業などで雇用のミスマッチが課題。雇用数増にはアメを与える制度は実行されてきたが、これからは労働の質の改善を考えなければならぬ、中身が伴った雇用を支援する制度が必要だ」と述べ、「自民党は仲がいい方がいいが、民進党は政策でも国会でも何をしたいのか、批判ではなく、何をしたいかを示す。しっかり旗を立て共闘においてリーダーシップをとる必要がある」と話された。

高田松原植樹会

3カ年で1万本を目指して

本年度から始まった高田松原の本植栽のうち、「高田松原を守る会」主催による6月25日の3回目の植樹会には、大和田議長(釜石遠野地協)も含め3名が参加。砂を掘って心地よい汗を流した。

東日本大震災で砂浜と松林が流失した高田松原を取り戻すため、県と市などが主催する今年5月の「再生祈念植樹会」から本格的な植栽が始まった。高田松原を守る会は、県による植栽とは別に、松原の約2haを29、30年度は3,000本、31年度に4,000本を植える計画をしており、小友町の圃場で育てた「高田松原由来の松」も6本植えられた。植樹会には地元をはじめ企業・労働団体など多くのボランティアなどが携わった。元に戻るには数十年、松並木の出現は5~10年と言われている。



引続き、畑氏は自己紹介の後、衆院議員在任中に触れ「復興事業の用地取得の特例に関する復興特区法改正案を立案・成立できたことは大きな誇り」と語り、「沿岸は建設業や水産加工業などで雇用のミスマッチが課題。雇用数増にはアメを与える制度は実行されてきたが、これからは労働の質の改善を考えなければならぬ、中身が伴った雇用を支援する制度が必要だ」と述べ、「自民党は仲がいい方がいいが、民進党は政策でも国会でも何をしたいのか、批判ではなく、何をしたいかを示す。しっかり旗を立て共闘においてリーダーシップをとる必要がある」と話された。

博・

暑い日が続く中、お仕事お疲れ様です。皆さん熱中症にはお気を付け下さい。さて、「テレビ等でJRの豪華列車、「四季島」や「瑞風」が話題になっていますが、夜行バスにも超豪華高速夜行バスが登場しました。

残念ながら岩手県ではありませんが、東京〜大阪間を走るホテル、その名も快眠バス「ドリームスリーパー」GUSURU号。車両価格はなんと一億円!乗客定員が十一名で、客席が完全個室に区切られ、最高の眠り向上質なりラクゼーションを提供するという新時代の移動空間を実現。料金も新幹線より高く片道二万三五千円。

これまた、びっくりです。最近では高級志向が流行りなのかこんな高くて連日満席とか…。羨ましい!乗客に話を聞くとまさに車号どおりでぐっすり眠れて快適」と話していました。連合気仙の皆さんも大阪に行かれる際には乗車してみたいかがでしょうか。

岩手県交通でも、こんな車両を配備したら、利用してくれませんか。 博・

